

会議録

会議の名称	令和5年度第1回東松山市地域自立支援協議会全体会					
開催日時	令和5年8月21日（月曜日）			開会	午後2時	
				閉会	午後3時50分	
開催場所	東松山市総合会館多目的ホールA・B					
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 役員選任 5 議事 (1) 各プロジェクト・連絡会議からの報告 (2) 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る令和4年度実績について (3) SDGs／合理的配慮普及啓発プロジェクトの設置について 6 その他					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		1人	
委員出欠状況	会長	朝日 雅也	出	委員	佐藤 美奈	出
	委員	丹羽 彩文	出	委員	矢部 智之	欠
	委員	岸澤 進	欠	委員	浅野 聖子	出
	委員	武田 耕典	出	委員	羽鳥 良江	出
	委員	松井 治子	出	委員	林 俊之	出
	委員	上野 秀爾	欠	委員	小池 千佳	欠
	委員	池永 和美	出	委員	長澤 誠	出
	委員	川上 嘉久	出	委員	森田 暢宏	欠
	委員	恵賀 正治	欠	委員	磯崎 祐子	欠
	委員	奥村 一彦	出	委員	須賀 雅之	出
	委員	若尾 勝己	出	委員	榎本 淳也	欠
	委員	暮松 靖弘	出	委員	富樫 正紀	出
	委員	小西 尊晴	出	委員	安藤 知佳子	出
	委員	大石 和夫	出	委員	久保田 慶一	出
	委員	田原 祐己子	出	委員	落合 要之	出
委員	荻野 裕	出	委員	成川 暢彦	出	
各プロジェクト・連絡会議	東松山市社会福祉協議会 田口 純子			西部・比企地域支援センター 南澤 甫		
	東松山市社会福祉協議会 林 茂史					
事務局	健康福祉部 田嶋部長			健康福祉部 高荷次長		
	障害者福祉課 荻原副課長			障害者福祉課 小松主査		
	障害者福祉課 矢部主任			障害者福祉課 金子主任		

次 第	顛 末
<p>1 開会 事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>皆様 こんにちは。 本日はお忙しい中、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。 私は、本日の司会を担当いたします障害者福祉課の荻原と申します。 どうぞよろしく願いいたします。 それでは、ただ今から「令和5年度第1回東松山市地域自立支援協議会全体会」を開会いたします。 本会議につきましては、事前にお配りした次第により進めさせていただきます。</p>
<p>2 あいさつ 田嶋健康福祉部長</p>	<p>はじめに、田嶋健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。 — あいさつ —</p>
<p>3 委員紹介 事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>本日は委員改選後1回目の会議でございますので、委員の皆様より「自己紹介」をお願いいたします。お手元の名簿順で「佐藤委員」より、お願いいたします。 — 全体会委員自己紹介 — 続きまして、幹事会からご出席いただいている委員の皆様のご紹介をさせていただきます。 — 幹事会委員紹介 — 続きまして、事務局を紹介申し上げます。 — 事務局職員紹介 —</p>
<p>4 役員選任 事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>続きまして、会長の選任に移らせていただきます。 東松山市地域自立支援協議会開催要綱により、会長は委員の互選により定めるとされております。 どなたかいらっしゃいますか。</p>

<p>丹羽委員</p> <p>事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>前回に引き続き、朝日委員にお願いしたいと思います。</p> <p>ただいま、朝日委員にお願いしたいという声がありました。皆様、会長は朝日会長にお願いするということでよろしいでしょうか。ご意見等がなければ、拍手をもって承認とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。</p> <p>— 拍手 —</p> <p>ありがとうございました。それでは、会長は朝日委員にお願いいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>朝日委員におかれましては、会長の席へのご移動をお願い申し上げます。</p> <p>ここで、会長からご挨拶をいただきたいと存じます。改めまして、朝日会長、よろしく願いいたします。</p>
<p>朝日会長</p> <p>事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>— あいさつ —</p> <p>続きまして、副会長の指名を朝日会長からお願いいたします。</p>
<p>朝日会長</p> <p>事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>佐藤委員にお願いしたいと思います。</p> <p>佐藤委員におかれましては、副会長の席へご移動をお願いします。本日の会議の会議録作成にあたり、出席委員2人の方に署名をお願いしたいと存じます。本日の会議録につきましては、丹羽委員と浅野委員にお願いいたします。後日、会議録ができましたら事務局よりご連絡を申し上げますので御署名をお願いいたします。</p>
<p>5 議事</p> <p>事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>それでは議事に入ります。議事につきましては、東松山市地域自立支援協議会開催要綱により、会長が進行を務めることとなっておりますので、朝日会長よろしく願いいたします。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>では、しばらくの間、議事を進行してまいりますので、皆様方のご協力よろしく願いいたしたいと思います。</p> <p>まず議事に入る前に、確認の事項がございます。東松山市審議会等の会議の公開に関する要綱では、会議の公開非公開の決定を会に諮って決めることとなっております。公開の場合、傍聴希望者がいらっしゃれば、</p>

	<p>傍聴いただくこととなります。事務局に確認ですが、今日は傍聴希望者の方はいらっしゃいますか。</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>1名いらっしゃいます。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>本日は1名傍聴者がいらっしゃいます。本日の会議を公開の会議とし、会議資料や会議録を公表してよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>— 異議なし —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>それでは、本日の会議を公開とし、傍聴者に入室いただきます。</p> <p>— 傍聴者の入室 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>それでは、議事に移ります。議事の(1)各プロジェクト・連絡会議からの報告でございますが、まず初めに事務局から、東松山市地域自立支援協議会の概要についてご説明をいただこうと思います。その説明の後、各プロジェクト・連絡会から令和5年度の進捗について報告をしていただきたいと思っております。では、東松山市地域自立支援協議会について事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>— 東松山市地域自立支援協議会について説明 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>続いて「障害者進路支援連絡会議」から報告をお願いします。</p>
<p>矢部主任</p>	<p>— 障害者進路支援連絡会議について報告 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>続いて「障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議」から報告をお願いします。</p>
<p>田口リーダー</p>	<p>— 障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議について報告 —</p>
<p>朝日会長</p>	<p>続いて「医療・福祉連携プロジェクト」から報告をお願いします。</p>
<p>南澤リーダー</p>	<p>— 医療・福祉連携プロジェクトについて報告 —</p>

朝日会長	<p>では、最後になりますが「地域生活支援拠点連絡会議」から報告をお願いします。</p>
林リーダー	<p>— 地域生活支援拠点連絡会議について報告 —</p>
朝日会長	<p>では、ただいま各プロジェクト・連絡会議より報告がございました。委員の皆様から何かご質問やご意見があればいただきたいと思えます。障害者進路支援連絡会議について、何かご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>先ほど、今回8月28日に予定されている職業体験事業で応募者が5名だったということで、少し残念な報告がありました。参加したいが企業に子どもが迷惑を掛けてしまうのではないかとということで参加をしなかった方がいるとの報告がありました。</p> <p>職場体験というのはもちろん障害のあるお子さんたちが将来の職業生活、キャリアを考えて、早いうちにいろいろな職場を体験するということなのですが、同時に、職場からすると、障害のある方が働く、あるいは見学をして体験をする、それは、事業所、職場にとっての体験にもなります。何が迷惑かどうかはやってみないとわかりません。職場を体験するとともに、職場が体験する。そういう双方向性で、もう少し気楽に考えていただいているのではないかなと思ったところです。</p> <p>以上は意見ですが、皆様はいかがでしょう。</p> <p>では、2番目の障害のある子どもの育ちと学びを支える連絡会議については何かございますか。</p> <p>今年の巡回相談の南部の地域ではないかもしれませんが、小学校長会、中学校長会を代表して、何かお気づきの点はございますか。</p>
長澤委員	<p>今年度の巡回相談が南部の学校が対象ということで、10月5日に巡回相談にお世話になります。よろしく願いいたします。</p> <p>実は、今、学校現場というのは、障害のあるお子さんが非常に増えているという現状がございまして、本校でもそうです。通常のクラスが13学級なのですが、特別支援学級が5学級あります。それから、発達障害と情緒障害の通級指導教室も2学級あります。</p> <p>総児童数が385名に対しまして、特別支援学級に在籍している児童数が26名、それから発達障害通級指導教室に通級をしている児童数が29名。この数値からもおわかりのように、なんらかの支援が必要な子どもが増えている現状があります。これは本校だけではなくて、東松山市ひいては埼玉県の中でも同じような状況なのではないかと思われれます。そこで学校現場としましては、学校内だけで個人個人に応じた教育的支援をしていくのはもう限界がきているという感じを持っております。今回</p>

	<p>この巡回相談支援チームは2年に1回なので、本校では、自立支援協議会だけではなくて、本校独自で様々な医療機関や相談機関、外部機関の巡回相談も行っています。学校としましては子供たち一人ひとりにどのような指導や支援が適切なのか、そういったものを学校内ではなくて、専門家の方々からの意見を伺いながら、その子に応じた適切な支援が行えるというところを目指して取り組んでいるというのが現状です。今回のこの巡回相談支援チームの取り組みには、大変期待をしています。ぜひ引き続いて、取り組んでいただければと思っております。感謝の言葉とさせていただきます。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>今、置かれている状況について、丁寧にご説明いただきましてありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。</p>
<p>佐藤副会長</p>	<p>さきほど、長澤先生からもありましており東松山市がずっといろいろな関係機関と連携をとりながら、地域で子供たちがどう育っていくかという取り組みを地道に行い続けてきたということが、こういった結果に結びついている。この会議に久しぶりに参加して、改めてすごいと感じているところです。そうした中で、この会議が市の計画の進捗や評価も行う場ですので、一つ質問させていただきたいと思えます。</p> <p>資料23頁の第2期障害児福祉計画の目標として、障害のある子供の育ちと学びを支える連絡会議が地域支援機能を担うことで、児童発達支援センターの設置に関わる体制を整備すると計画に位置づけられています。資料24頁の一番下のスライドで示されている機能ができているということも児童発達支援センターは箱物を持っていない市町村はどうするのかということがずっと課題としてきている中での箱物ではなくて、今あるもの、今まで行ってきたものであるとか、様々な事業所が行っているものと連携しながら進めていこうという発想・取組というのも本当にすごいことだと思っております。</p> <p>いよいよ今年度についてはそうした目標を掲げて行ってきただ中で、(仮)とありますが、いつ頃(仮)が取れてくるのでしょうか。これだけのものがもう既にできている中でまだ(仮)というのはどんなところがまだ課題としてあるのかと思ったので質問をさせていただきました。</p>
<p>成川課長</p>	<p>佐藤委員のおっしゃるとおり、第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画につきましては令和5年度、今年度末をもって、一旦目標に定めたことは終了という形になりますので、市としてはこの(仮)というのは、今年度末、あくまで令和5年度末を目標に取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>今、その次の障害福祉計画と障害児福祉計画の来年度スタートが議論</p>

	<p>されていると思うのですが、そういったところの段階になると、この辺りも（仮）というところが正式に取られると、こういうような見込みを期待するということがよろしいでしょうか。</p> <p>他にこの連絡会議についてはよろしいですか。</p> <p>では医療・福祉連携プロジェクトについてですが、こちらについては何かご意見、ご質問等ございますか。</p> <p>幹事会の幹事長も務めさせていただいていますので事前に資料は全てチェックをしているのですが、全体会に出て、委員の皆様を前にすると気づくことも出てきます。</p> <p>まず資料 29 頁のリストですが、隣に浅野委員がいらっしゃるのので歯科とか口腔衛生はどうされているのかと思いました。訪問歯科が項目として入っていますが、一人しか丸がついていないので、その他の人たちはどうしているのかという疑問がわきます。医療の部分についても訪問については、書かれています、ベースにある主治医とか、その他の医療機関の受診状況とか、利用しているのかというのが、同時に疑問に浮かびました。この辺りもリストに入れていただく工夫をされるというのではないかと思います。</p> <p>もう一つは、今、受け皿が足りない。今の生活状況の中で課題があるのはもちろんなのですが、やはりこの先どのように地域で暮らしていただきたいのかとか、医療的ケアが必要だとしても、こんなふうに市民として地域の中で住民活動に参加するとか、そういったことをどうしていくのか。そのために必要なサービスはどのようなものなのかということも考えないと、足りないところを埋めていくだけになってしまいます。ケースモニタリングということであれば、現状をモニタリングしていても多分、なかなか先には進めない。だからといって本人や家族にどう暮らしたいですかとか、何が欲しいですかと言っても、ないものをイメージするのはなかなか難しいと思います。やはり関係機関が連携して、こういうものがあつたらいいとかこういうものがあつたらもつとこう、皆さんの生活はこうなるのではないかということの意見交換を活発にさせていただいて、地域の中でどう生きていっていただくことを目指すのかということをもまずは共有をして、議論をしていただき、ケースモニタリングをしていただきたいと思います。</p> <p>引き続き、幹事長として、この後しっかり取り組みをチェックしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>丹羽委員</p>	<p>ありがとうございます。資料 29 頁のモニタリングの表についてお話がございました。今のお話を受けると、丸がついてないところは必要がないので丸がついてないのであれば、それはそれでその方の暮らしぶりから出てくる結果だと思います。</p>
	<p>朝日会長</p>

でも、本当は必要なのにそこに提供されていないとするならば、今度はサービスの供給体制に問題があるのではないかと。もう一つは、現状で必要かどうかというだけではなく、こういう暮らし方を想定したときに何が必要かということも併せて考え、この表の1番から18番の方、どういう暮らし方を、もちろんご本人で表出するのが難しいとしても、関係者が一緒になって、どういう目標を持ってその人の暮らし方を地域で支えていくのか、こういったものをやっぱり想定している中で、出てくる支援の目標というか、サービス利用の目標みたいなものが出てきますので、それに従って丁寧にモニタリングしていくということのご趣旨だと思います。

私もそういうふうに思いました。

いかがでしょうか。特に事務局からはよろしいですか。

発言したことをそのままお引き受けいただけるとのことです。

南澤リーダー

ご意見ありがとうございます。

先ほどの訪問歯科のところと、主治医がどうなっているかというところですが、実はこのリストを作成するにあたっては事務局で個別の台帳を作っていて、そこでは家族構成など、もっと細やかな情報の共有をしていて、これはあくまでもそのメンバーでプロジェクトの中で共有をするというところで、ある程度情報を絞っているようなものでもあります。

ただ、そのモニタリングも今、いろいろ試行錯誤をしているところで、児童期と成人期と分けてみたり、これまで参加をお願いしなかった機関に参加をお願いしたりといったことをしているので、工夫をしながら、事務局や幹事会と相談しながら行っていきたいと思っています。

今の課題と今後の課題を考えていくのは、もちろんそのとおりで思うところではありますが、ただ今回、新しくプロジェクトに入っていた方とまず例えば児童期であれば、1番から6番までの方、それ以降の方であれば7番から18番までの方が、今現在、どんな生活をしているのかということから共有しながら、わかっている人たちも、このプロジェクトに入ったことで、そういう実態を知った方々も足並みを揃えながら進めていきたいと思っていますので、できることはもちろん進めていきますし、そういう将来のことなども少し話をしながら進めていけるといいなと思っています。

朝日会長

よろしいでしょうか。

このモニタリングの方法論や、あるいはシートの表し方もまたバージョンアップを積み重ねる中で、ニーズに応じていくと、そういうご趣旨でした。それではよろしいですか。地域生活拠点連絡会議の方はいかがですか。

<p>丹羽委員</p>	<p>ちょっと細かいことではあるのですが、令和6年4月施行の改正障害者総合支援法の中で地域生活支援拠点の努力義務化が位置づけられています。この東松山市の地域生活支援拠点は、そういう建物がある拠点型ではなく面的整備なので法律で正しく言えば、地域生活支援拠点「等」になると思います。</p> <p>連絡会議とかの名称も、しっかりその法律に則った形で等を入れるようなことで地域生活支援拠点「等」連絡会議というふうに修正を図ってはいかがでしょうかと思います。</p>
<p>朝日会長</p>	<p>この点については、事務局から委員でもいらっしゃる成川課長お願いいたします。</p>
<p>成川課長</p>	<p>丹羽委員のおっしゃるとおり、「等」にはきちんとした意味がありますので、今後は正式な名称を使っていきたいと考えております。</p>
<p>佐藤副会長</p>	<p>今回は進捗の報告についても兼ねた会議であると思いますので、進捗について伺いたいと思います。</p> <p>拠点の連絡会議の本年度の目標として3つ掲げてありまして、1つ目の登録事業所を増やすという点と2つ目の障害福祉サービスを利用していない障害のある人への支援を協議するという点についてです。</p> <p>1つ目の登録事業所を増やすというところですが、資料35頁の面的整備の図のところ、東松山市の地域生活支援拠点に登録している事業所としていろいろな事業所が載せられているかと思います。かなりいろいろなところが登録されていて、以前、私が自立支援協議会に参加していたときには見られなかったような事業者の参加もあって、いろいろな事業者と連携が図れているのだと思っておりました。</p> <p>ただそういった中で、緊急時の受け皿というところでは東松山市内には大きな入所の施設を持っている法人があるかと思うのですが、そういったところとの連携はどうなっているかと思いました。登録事業所を増やすというところで、今年度どんな取り組みをされているのかということが1点です。</p> <p>2点目についてもやはり緊急時というところで、これは私も東松山市社会福祉協議会の職員ですので自分たちの仕事になってくるわけですが、ケアサポートいわはなは、埼玉県的生活サポート事業ではなく、市単であえて生活支援事業を行っているという県内でも本当に唯一の事業所になっています。東松山市の取り組みとしても素晴らしいことができています。ケアサポートいわはなの今後の活用というところも今後、拠点の連絡会議の中でも整理していただけるといいなと思っております。これについては意見です。</p>

朝日会長	<p>ありがとうございました。それではご質問の部分の登録事業所を増やしていく、その見込みあるいは今年度の具体的な対応についてご説明を事務局からお願いします。</p>
林リーダー	<p>まずはショートステイの事業所をこれから増やしていくという話でした。東松山市内には知的障害の入所型の施設が何ヶ所もあります。以前にも、これらの法人に市と一緒にご説明上がったところです。まだ現在登録には至っていないのですが、今年度も市と担当で法人に伺って、ご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>今の説明に関連して資料 37 頁の下の図になります。</p> <p>ただ今、入所施設の話が出ました。それから障害者生活支援センターいわはなの活用という話もありました。事前把握している方たちへの支援という点では整備が進んでいます。しかし、事前把握できていない方で緊急時の支援が必要になった方をどうすればよいか今後協議を進めていく中で、今、話に出た市内の入所施設、こちらはやはり重度の障害のある方に対してノウハウがある事業所というところで、バックアップ機能として必要なところ、それから、障害者生活支援センターという市独自の機能がありますので、そこをどうやって緊急時に活かしていくのかということも、市と協議をしていきたいと思っております。</p>
朝日会長	<p>ほかにはいかがでしょうか。ないようでしたら、議事の (1) については以上とさせていただきます。議事 (2) 「第 6 期障害福祉計画第 2 期障害児福祉計画に係る令和 4 年度の実績について」を協議してまいりたいと思います。事務局からまずご説明をお願いいたします。</p>
事務局 (障害者福祉課 小松主査)	<p>— 第 6 期障害福祉計画第 2 期障害児福祉計画に係る令和 4 年度の実績について説明 —</p>
朝日会長	<p>先ほどの連絡会議プロジェクトに関連するところに焦点を当てて令和 4 年度の進捗についてご報告いただきました。この点について、委員の皆様方から何かご質問やご意見はございますか。</p> <p>改めて拠点及びセンターについては、箱物ではなくて、その機能という部分を自立支援協議会でも連絡会議で果たしていくというところで、その重責をさらに確認したところでございます。またこのご説明ありました来年度スタートの第 7 期障害福祉計画と第 3 期障害児福祉計画については、また自立支援協議会において確認することになっていきますね。本日の実績報告も踏まえて、またご発言のご意見を頂戴できればというふうに思っております。</p>

<p>丹羽委員</p>	<p>それではよろしいでしょうか。 では最後の議事の(3)「SDGs 合理的配慮、普及啓発プロジェクトの設置について」です。 こちらについては、丹羽委員からご説明をいただけると伺っております。</p> <p>—SDGs / 合理的配慮普及啓発プロジェクトの設置について説明—</p>
<p>朝日会長</p>	<p>ただいま新たなプロジェクトの設置についてご提案いただきました。 この点について委員の皆様方からご質問やご意見があればお願いいたします。</p> <p>ご説明にもありましたように来年度からはこれまでは努力義務であった民間事業所における合理的配慮の提供が義務化をされます。もちろん合理的配慮は、もう一方で過度な負担、過重な負担があるかどうかということ吟味した上でということになりますけれども、しかしながら、合理性があれば、当然、それは提供が義務化させると、こういうことでございます。</p> <p>そうなりますと、例えばプロジェクトのメンバーでなくてもいいと思うのですが、実際に合理的配慮を提供していく、差別をしないというのはあまりにも当たり前すぎる気がするのですが、非常に日本社会にとってわかりにくいのが合理的配慮の提供という部分があると、そこを先ほど協力的なお店にシールをとということもありましたけれども、このプロジェクトの中で、民間事業者の方の積極的なところも、好事例のような形で、ご紹介していくのも非常に効果的ではないかなというふうに期待をしながら聞いておりました。ほかにはいかがでしょうか。</p>
<p>小西委員</p>	<p>SDGs について、とても興味があります。</p> <p>特別支援学校にいた頃はいつも環境のこととか、身近に起こる問題について先生に何でそういうことが起こっているのかというように常に問題提起して、3年生のときはみんなを巻き込んでSDGs のことについて勉強して発表したという経緯もあります。</p> <p>普段、地域で暮らしていて、よく最近見るのが、障害者駐車場のところに、後から降りないと降りることができないような車を持っている方が多くいるにも関わらず、大きくドーンって、ここは駐車場です、みたいなポールとかが立っている。それが移動できないようになってしまっていて、多分、高齢の方とかのアクセルブレーキ踏み間違い問題でそういうものができてしまったと思うのですが、それがあつたために止められなくなってしまったっていうことも、いっぱいあつて。でも、仕方がないので、前から前向きに止めてしまう方が、他の方の交通の妨げになってしまうので、実際、中に止めないで、危なくないような場所で乗り</p>

<p>朝日会長</p> <p>6 その他 事務局 (障害者福祉課 荻原副課長)</p>	<p>降りをしています。それを見て何も知らない一般の方とかが、ちょっと足を止めて、よく見てくれます。そうだよね、これがあつたら、後から降りられないよねと、普通に声をかけてくださったりします。特別なプロジェクトメンバーとかではなくても、地域の人そういう視点を集められると思うし、そういう声を拾っていくと、障害のある方だけではなくて、地域ニーズで、一緒に育つ、暮らし方は誰にとっても住みやすい環境になっていくだろうなというのを日々感じていたりします。</p> <p>ぜひプロジェクトメンバーに加えていただけたら、活躍します。よろしく願います。</p> <p>大変積極的なご発言をいただきました。プロジェクトの方でも検討していただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、用意いたしました議事を皆さんにご検討いただきました。他にないようでしたら、以上をもちまして、議事を終了して、議長の役割からさせていただきたいと思えます。ご協力、誠にありがとうございました。事務局にお返しいたします。</p> <p>朝日会長ありがとうございました。続いて、次第の 6、その他でございますが、委員の皆様から何かございますか。</p> <p>ないようですので、以上をもちまして、令和 5 年度第 1 回の東松山市地域自立支援協議会全体会を終了いたします。令和 5 年度第 2 回全体会につきましては、日程が決まりましたら改めてご連絡申し上げます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p>	
<p>令和 5 年 9 月 2 2 日</p>	<p>署名委員 <u>浅野 聖子</u></p> <p>署名委員 <u>丹羽 彩文</u></p>